関係職員、ご家族様、

み瀬戸の里夏祭りを開催しまし

今年のテーマは「和~なご

8月17日今年も恒例のみずな

皆で和を作れるよう、笑顔が見

ここみずなみ瀬戸の里でも、

輪を作っていかなければいけま 以上に人と人が強く手をつなぎ 日本大震災より2年半。

今まで

協力し合う関係にあること。東 み~」互いに相手を大切にして、

第28号 平成25年9月30日発行 <u>みずなみ瀬戸の</u>里

新聞委員会

社会福祉法人五常会 特別養護老人ホー 今月号のトピックス

た。感動の後には毎年恒例のMロ率10%の動きには感動しまし 鼓、 のままMAIYAの皆さんも巻 そうに参加されていました。 ラは爽快で、皆さんとても楽し 場の全てを巻き込んで踊るバサ AIYAさんによるバサラ、 の晴れの夏祭り今までのうっぷ とし に合わせてドンドーンと上がる 後を締めくくるのは花火。音楽 な輪が出来ました。夏祭りの最 き込んでの輪踊り、 んを晴らすようなステージの演 体の芯まで響く音、 参加していただいて初めて た踊りでした。次は阿木太 敬老のお祝い 第7回夏祭り お楽しみ会 会場に大き シンク



のバサラ、仕事を覚えながら踊

ますが、

ら始まり、 始まりました。

> た。 のを少し切なくさせるものでし の花火は今年の夏祭りが終わる

そ

うございました。そしてみなさ 成功で終わりました。 協力のもと、 られて本当によかったと感じま 夏祭りではなかったでしょうか。 んの和も出来、皆さんが和めた 者様と職員、 ランティアの方々、そして入居 楽しそうな笑顔がたくさん見 夏祭りが終わった後の皆さん 家族の方々、 今年の夏祭りも大 たくさんの方々の 地域の方々、 ありがと ボ



会



アイスクリー 新職員紹介

おめでとう!

ユニットだより

& 居酒屋バイキング

ざいました

編集後記

草刈りありがとうご



伊澤よね様

ました。

とうござい

て楽しそうでした。

なってもう一度楽しく躍らせてもらいま 者の皆さんにも渡して頂き、皆で一緒に

した。普段は静かな方も一緒に歌って踊っ

百一歳祝

お楽

祝

敬老

児達が来る日だね」と皆さん大変楽しみ 拍手が、お待ちかねの園児の入場です。 ぼれます。 園児を待っていると、パチパチと大きな にしている様子でした。 「みんな可愛いねぇ」と自然に笑顔がこ 午後になり、下に集まり、今か今かと お楽しみ会が始まる前から「今日は園

米寿

永井まち子様 畑辺久子様 長瀬さわ子様

と思ったら、次は撥をボンボンに代え楽

これで終わりではなく、ボンボンを入居 しげな踊りを踊ってくれました。しかし、 ながら、迫力ある踊りを披露してくれた

最初に園児の皆さんが撥を両手に持ち

佐藤かずゑ様











喜寿

時をありが 園のみなさ うな声が聞 こえてきま 稲津幼児 今年も

伊藤錦子様

楽しいひと

あちこちから「ありがとう」「うれしい」 百二歳祝

など楽しそ

ゼントをもらい、肩たたきもしてもらい

原じつ子様 伊藤錦子様

園児の皆さんから今年も首飾りのプレ

伊澤よね様

した。



さんとなりました。

いつまでもお幸せに



永井まち子様



長瀬さわ子様



遠山智恵子様

遠山智恵子様



んが結婚され、加知美咲 結婚おめでとう! 介護職員の浅井美咲さ 浅井美咲改め





非本人たちに聞いてみて れました。 の赤ちゃんが産まれまし ください。 です、何と読むのかは是 日より少し遅れましたが、 た。7月20日出産で予定 寺山百恵さん夫妻に待望 介護職員の寺山貴規君と 元気な男の子が無事産ま 名前は陽都くんだそう おめでとうございます。

おめでとう!

田口のぞみさん 結婚おめでとう! 中島のぞみ改め

さんが結婚され、田口の ぞみさんとなりました。 いつまでもお幸せに 看護職員の中島のぞみ





と思ってい

作っていけ

たらいいな

そんなプチ

ハッピーを

にちょっとした変化を。

ます。

川折 一・二番地

ける音、椎茸の出汁の匂 ちらし寿司を作ることに らさっぱりした食べ物が ました。 いがし始めると皆さんキッ しました。当日、 いいね」という声があり、 生まれの方の誕生会を行 チンの辺りを気にしだし いました。「まだ暑いか まだまだ暑い9月の半 川折一・二では9月 卵の焼

え、職員一同嬉しい気持 で箸をお皿に伸ばしてみ に」と言わんほどの速さ 食事の際には、 「我先

ちでいっぱいになりまし たです。変わらない日々 喜んで頂けてとても良かっ したが、次第に笑顔に。 初めは驚いていた様子で 方へプレゼントを渡すと、 た。その後、お誕生日の



川折五・ 六番地

楽しみだ」等ワクワクと めている」「食べるのが めると、「ここに出来始 りなゴーヤが実をつけ始 聞こえました。 んのおいしいという声が お出ししたところたくさ 浅漬けにして食事の時に ヤや他の夏野菜を収穫し、 ヤは、収穫し食べるまで 様子がなく、中庭のゴー した声が上がりました。 たびにツルがのび、小ぶ しましたが、その後見る には至りませんでした。 ですが、畑で出来たゴー しかし、待てど暮らせ 育てていますとお伝え 前号で、中庭でゴー そこから大きくなる

植物があると生活が華

うと考えています。

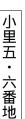
といいなと思います。 く実っ たゴー ヤができる 来年は、中庭でも大き



様子を入居者と一緒に楽 日々成長していく朝顔の の水やりが日課となり、 を育ててきました。 地では、ベランダで朝顔 しんでいました。 大小色とりどりの花が この夏、 小里一・二番 毎日

だけた様でした。 咲くと「きれいやね」 皆さんに夏を感じていた 自然と会話が増え、 に笑顔も増えました。 たくさん咲いたね」等で 毎朝、 朝顔の花を見て 同時

うな取り組みをしていき くなります。 これからも たいです。 明るく、穏やかになるよ 入居者の皆さんの生活が やかになり、 気分も明る



は良いのか悪いのか天気は上々、昼にかけて

する施設の草刈をしていただきました。当日

会の皆さんによって、駐車場広場をはじめと かかっている本番一週間前の8月10日。家族 る夏祭り委員のメンバー が最後の追い込みに

夏祭り本番に向けて、

委員長をはじめとす

だんだんと暑くなるような様子でした。すで

に6月にも草刈をしていただいているためか、

草は短めですが、それでも草を刈る場所は広

皆さんで一斉に草刈りをは

れる姿があり目の前のガー たが入居者様が見に行か ました。コスモスは途中 末に芽が出ました。 を入れたりして、7月の 毎日水やりをしたり、肥 ガーデニングをしました。 とコスモスの種を撒き リーゴールドとひまわり てパンジー などを植えよ た。これからは冬に向け で全部枯れてしまいまし ゴールドと向日葵が咲き デニングを楽しまれまし にはゴーヤが実り、マリー 春先にゴーヤの苗とマ 8 月

アップルケー キを作って 緒に食べました。 7月の末には皆さんと

今年もたくさんの方々の力作を集めた

みずなみ瀬戸の里文化祭を開催いたし



じめていただき、駐車場で使用する施設横の く大変です。涼しいうちにと、朝早くから集 広場、施設の土手など次々に草が刈られてい まっていただき、

本当にありがとうござい させることが出来ました。 今年も無事夏祭りを成功 ていただいたおかげで、 の汗を流しながら手伝っ 本当に暑い中たくさん



ます。

さん誘い合って鑑賞にお越しください 期間は11月23日~11月30日まで、

お待ちしております

11月23日(土)~11月30日(土)

뱜

ので、あっという間にきれいさっぱりになり きます。たくさんの方々のお手伝いがあった

菊地

寿洋

言

頑張りますのでよろしく 場に慣れるよう一生懸命 おかけしますが、 お願いします。 いろいろとご迷惑を 早く現

植田 飛鳥

あみもの

今マフラーを編んでいます

任せていただけるように 様やスタッフの皆様に親 笑顔で明るく頑張ります。 しんでいただき、仕事を よろしくお願いいたし 少しでも早く、入居者

という事で居酒屋バイキン い夏を元気に乗り切ろう」 美味しく楽しく食べて暑

せながらあっという間に食

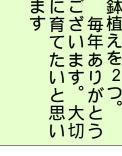
ングしてみなさん目を輝か は、フルーツあんをトッピ

べられました。

ます に育てたいと思い ございます。大切 に育てたいとのがとう



だきましたとがったがある。ださかはいまりお花をプインをしていた。



施設で採れた野菜を使っ

くださりありがとうござい

く美味しいものを提供して



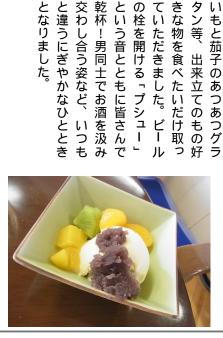
の栓を開ける「プシュー」

きな物を食べたいだけ取っ

た玉ねぎのスープ、じゃが さいました。 を回り実演料理をしてくだ スタッフさんが各ユニット の企画を栄養士さんと厨房 グとミニパフェ作りと2つ









となりました。

と違うにぎやかなひととき

編集後記

また、ミニパフェ作りで

イキング&ミニパ

ですね。 です。また地震も不安 いくのでしょう、心配 のような気候になって うです。日本は今後ど 気温差は15 程あるよ た今日この頃、昼夜の て少し寝冷めをし始め 朝晩肌寒くなってき

フのみなさん、いつも楽し

栄養士さん、厨房のスタッ

ではこう言うそうです。 震・雷・火事・親父」 楽しみに。 ね。それでは次号もお んが増えてきたんです 父」家庭に入るお父さ が有名でしたが、現代 大怖いものとして「地 「地震・雷・家事は親 地震といえば昔は四

(新聞委員)

